

# 共創の関係図

Ver. 1.7

多様なステークホルダーの共通ビジョンと、  
それぞれのメリットを明確にし、  
共創関係を整理するための、思考フレームワーク

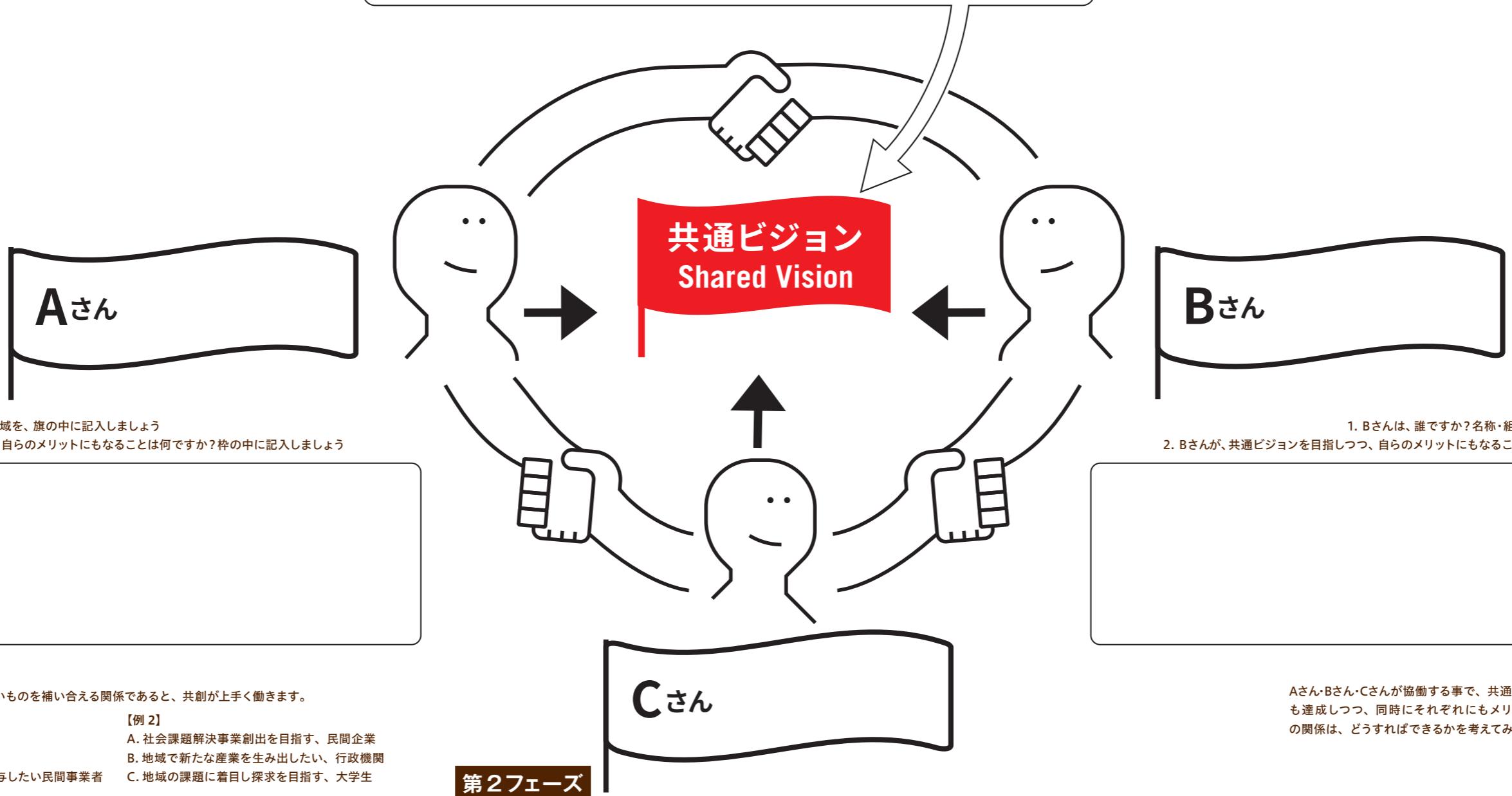
## 第1フェーズ

共通ビジョンとは、多様な立場の人々（ステークホルダー）が協力し合い、  
みんなで「どんな社会や未来を創りたいか」という長期的な目標や理想像を指します。



共創の関係図の使い方

- 【1】個人で「三方よし」の取組みを考える時：  
新しい社会の仕組みや政策などの広義なデザインを創出するための、考え方や進め方、そして重要なポイントを発見するきっかけとなります。
- 【2】複数のステークホルダーとディスカッションしながら共創関係を考える時：  
抽象的な議論を防ぎながら、共通ゴール（共通ビジョン）達成に向けた具体的な役割分担と、それぞれのメリットを明確にしていく事ができます。



## 第2フェーズ

1. Aさんは、誰ですか？名称・組織名・地域を、旗の中に記入しましょう
2. Aさんが、共通ビジョンを目指しつつ、自らのメリットにもなることは何ですか？枠の中に記入しましょう



### A・B・Cさんの例

ABCは、お互いに無いものを補い合える関係であると、共創が上手く働きます。

- 【例 1】  
A. 社会課題の当事者  
B. デザイナー  
C. 社会課題解決に寄与したい民間事業者

- 【例 2】  
A. 社会課題解決事業創出を目指す、民間企業  
B. 地域で新たな産業を生み出したい、行政機関  
C. 地域の課題に着目し探求を目指す、大学生

Aさん・Bさん・Cさんが協働する事で、共通ゴール（共通ビジョン）も達成しつつ、同時にそれぞれにもメリットがある「三方よし」の関係は、どうすればできるかを考えてみましょう。



1. Cさんは、誰ですか？名称・組織名・地域を、旗の中に記入しましょう
2. Cさんが、共通ビジョンを目指しつつ、自らのメリットにもなることは何ですか？枠の中に記入しましょう

フィードバック・フォームへの  
ご回答も、よろしくお願いします！

